

発展途上の中野駅周辺まちづくり(下)

区役所、サンプラザ建て替えへ

入れ、新宿駅から中央線で1駅に位置する中野駅。19年
度に民間事業者を公募する、区役所と中野サンプラザの
建て替え跡地を含む新北口駅前エリアや団町東地区の再
開発事業のほか、西口改札と駅ビルの新設など、中野駅
周辺のまちづくりは駅近のメリットを生かして本格化し
ていく。

アの事業者公募
新区役所は、地上11階地下2階建てで、延べ床面積約4万7000m²の規模で、現在の中野体育館の場所に建設する。体育館移転後に着工し、23年度竣工予定。施設内には東京都第三建設事務所も整備する。

西口改札と駅ビル新設
中野駅の新西口駅前エリア
15年12月に都市計画決定を受
け、2年夏頃の竣工を目指す。
中野4丁目の中野セントラルパークサウスとJR中央線に挟まれた西口地区（約2ha）では、11年に再開発準備組合が発足し、住宅（600戸）、業務、商業施設が入る複合施設を総延べ床面積約12万4400m²の再開発ビルを整備する。

西町東地区再開発ほか
西口広場を整備する。

駅前エリアは駅直近となる。西側南北自由通路を南側に抜けた先には、UR都市機構が中野三丁目土地区画整理事業で西口広場を整備する。

知る地元業者として
経済界が官の苦手な
部分を主導していき
たい。

官学でエリアマネジメント

協会を設立してい
る。また、中野キャ
ンパスを開学した明
治大学の小林正美副学長も
アドバイザーとしてまちづ
くりに協力してくれてお
り、大学や
クリング
ループなど
大手企業と
きるようにしていきた
い。海外や地方との
連が増え、街の価値
高めることで、不動産業
も良い効果が生まれて
くる。なにより、中野に生
れ育った者として、将来
子供たちに『良い街だ』
思える中野をプレゼント

川越市中活協（川越市街地活性化協議会）は、16日、「川越空き店舗ツアー」を開催した。川越の中心市街地の空き店舗で実績がある民間企業協力した初ツアー。Sを使って、約2時間に及ぶ物件見学と街歩きを行った。ツアーを利用して空き店舗をマッチングへ

川越由活協 初の空き店舗ツアーリポート

利用希望者たるドクтор・モンゴメリー

活性化につなげていく考え、参加者は、空き店舗を活用してビジネスを希望する人、所有不動産の活用を考える人など18人。ソアーレは、「に空き店舗を活用している例の2物件と空き店舗3物件を見学した。参加者からは「しかった」「参加者同士で、用法に関する意見交換が意義だった」「店舗活用の具体的なイメージが沸いた」との感想が出された。

川越市は、蔵造りの街並などが観光客に人気となり、18年は年間734万人が訪れている。一方、観光スポットからやや離れた場所では、商店街が出来始めている。アーレを主催した中活協の事局は、今後もツアーナなどをじた空き店舗の紹介を続けいく意向だ。

全国を網羅する三鬼商事のオフィスビル情報ネットワークで、企業の皆様のオフィス探しやビルオーナー様の貸しビル事業をサポートします。豊富な物件情報の中からお客様のニーズに合ったオフィス資料やオフィスビルデータを迅速・丁寧にご提案してまいります。

オフィスに関する情報からビジネス情報まで



中央右端から中野サンプラザ、区役所と並ぶ新北口駅前エリアの現況。左端はキリングループ本社等が入居する中野セントラルパークサウス



新北口駅前エリア整備イメージ例 (変更の可能性あり)



国町裏地区更開発事業の完成予想圖

武田区

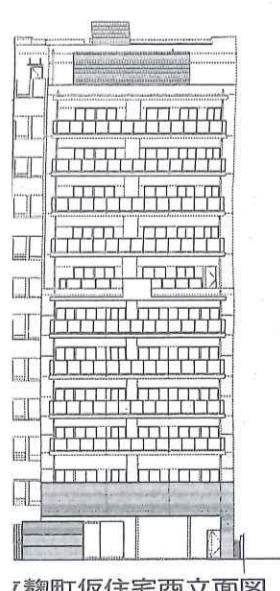
住宅の将来活用案を示す 地域を支える人材向け住宅

京千代田区は1月30日、都基盤整備特別委員会で建設の区立麹町仮住宅の将来活用モデル（案）を示した。同住宅は、隣接する区営四番住宅と区営四番町アパート一体建て替えの仮移転先として建設中で、24年度の仮移終了後に必要な改修を行い、地域を支える人材向け住宅サービス付き高齢者向け、住宅、子育て支援施設を設ける方針で検討を進める。

区立麹町仮住宅は、10年閉鎖した千代田保健所麹町舎の跡地（千代田区平河町丁目7番4号、約718m²）に17年12月に着工した。地12階地下1階建て、延べ床



[View all posts](#)



区は当初、区立麹町仮住まいを今後も続く区営住宅の建設替え時の仮移転先として利用する計画だったが、地域住民で構成する同協議会からの建議を考慮し、将来活用モデルの作成を進める。

宅用陳ル区度開設予定。と児童館の解体を行い、24積は約1万2360m²。設12階地下1階建てで、延べ床積は類設計室。19年度は保育町公共施設として一体的にて替え整備する。住所は千田区四番町1番地ほか。地